

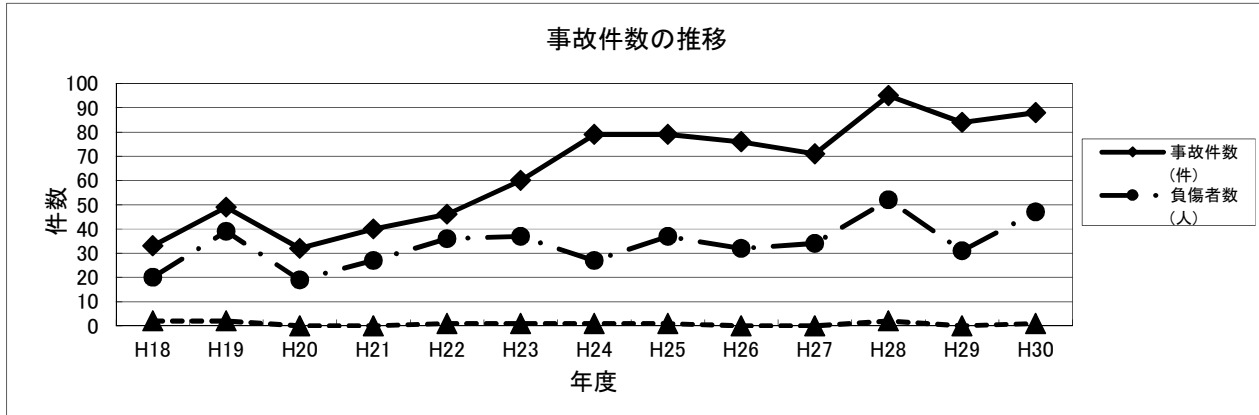
# 島根県発注建設工事・業務における事故の状況について (平成30年度末)

島根県土木部技術管理課  
20190603

## 1. 年度別事故件数(H18~30)

H20. 4. 1：事故処理の一元化、委託業務、休業4日未満も対象

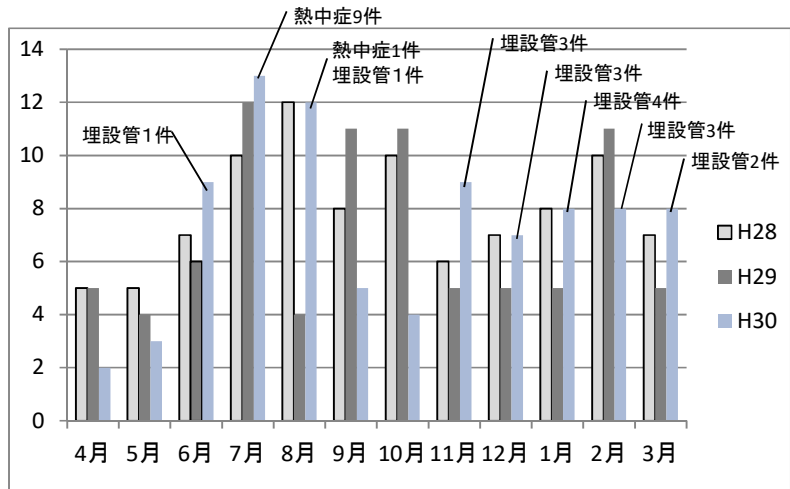
H23. 4. 1：公衆災害も対象



年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
事故件数(件)	33	49	32	40	46	60	79	79	76	71	95	84	88
負傷者数(人)	20	39	19	27	36	37	27	37	32	34	52	31	47
死亡者数(人)	2	2	0	0	1	1	1	1	0	0	2	0	1

## 2. 月別事故件数(H28~30)

月	H28	H29	H30	好労災
4月	5	5	2	1
5月	5	4	3	1
6月	7	6	9	2
7月	10	12	13	13
8月	12	4	12	6
9月	8	11	5	3
10月	10	11	4	2
11月	6	5	9	3
12月	7	5	7	3
1月	8	5	8	2
2月	10	11	8	1
3月	7	5	8	4
計	95	84	88	41



## 3. 事故の内訳(H28~30)

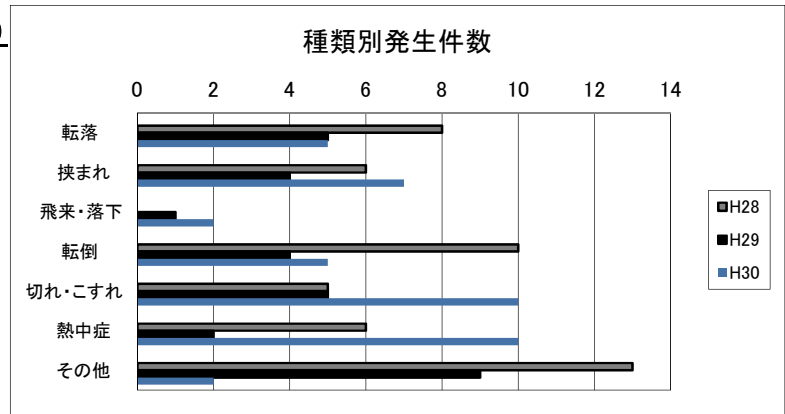
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度 ②	年度末現在の比較		
				平成29年度 ①	平成30年度 ②	増減 ②-①
建設工事事故件数	95	84	88	84	88	4
労働災害件数	48	30	41	30	41	11
うち4日以上の休業	9	5	9	5	9	4
うち死亡事故	2	0	1	0	1	1
うち熱中症	6	2	10	2	10	8
公衆災害件数	43	46	43	46	43	▲ 3
うち架空線事故	4	13	7	13	7	▲ 6
うち埋設管事故	10	12	20	12	20	8
もらい事故等の件数	4	5	3	5	3	▲ 2

#### 4. 事務所別の事故件数 (H28～H30)

年度	松江 県土	広瀬 事業所	雲南 県土	仁多 事業所	出雲 県土	県央 県土	大田 事業所	浜田 県土	益田 県土	津和野 事業所	隠岐 県土	島前 事業部	その他	計
H28	15	5	14	4	17	5	1	14	6	5	1	0	8	95
H29	10	1	10	5	9	10	3	13	3	9	2	3	6	84
H30	15	0	7	3	17	9	6	10	5	2	2	1	11	88
増減	5	▲ 1	▲ 3	▲ 2	8	▲ 1	3	▲ 3	2	▲ 7	0	▲ 2	5	4

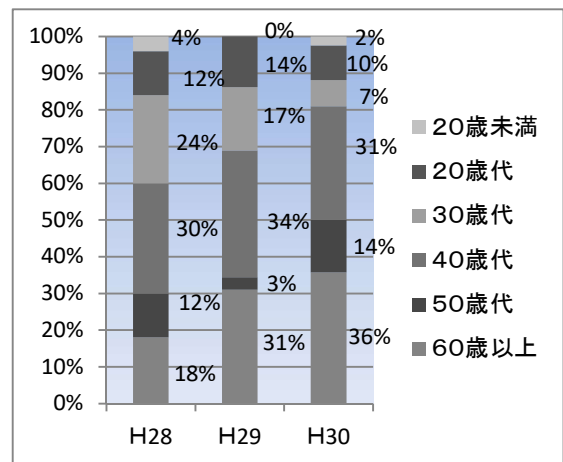
#### 5. 労働災害の種類別件数 (H28～30)

事故の種類	H28	H29	H30
転落	8	5	5
挟まれ	6	4	7
飛来・落下	0	1	2
転倒	10	4	5
切れ・こすれ	5	5	10
熱中症	6	2	10
その他	13	9	2
計	48	30	41



#### 6. 労働災害の年齢別死傷者数 (H28～30)

年齢	H28		H29		H30	
	死傷者数	%	死傷者数	%	死傷者数	%
20歳未満	2	4%	0	0%	1	2%
20歳代	6	12%	4	14%	4	10%
30歳代	12	24%	5	17%	3	7%
40歳代	15	30%	10	34%	13	31%
50歳代	6	12%	1	3%	6	14%
60歳以上	9	18%	9	31%	15	36%
計	50		29		42	



#### 7. 下請等関与事故の割合 (H28～30)

下請等…下請及びガードマン等の委託を含む

年度	事故発生件数		負傷者数		死亡者数		下請等関与件数				備考
	① 全体	内数	全体	内数	全体	内数	②		②/①		
							件数	割合 %	全体	内数	
H28	95	48	52	48	2	2	37	22	38.9%	45.8%	10月に死亡事故連続発生
H29	84	30	31	29	0	0	35	12	41.7%	40.0%	
H30	88	41	47	42	1	1	30	22	34.1%	53.7%	7月に死亡事故発生

#### 8. 平成30年度の発生事故の特徴

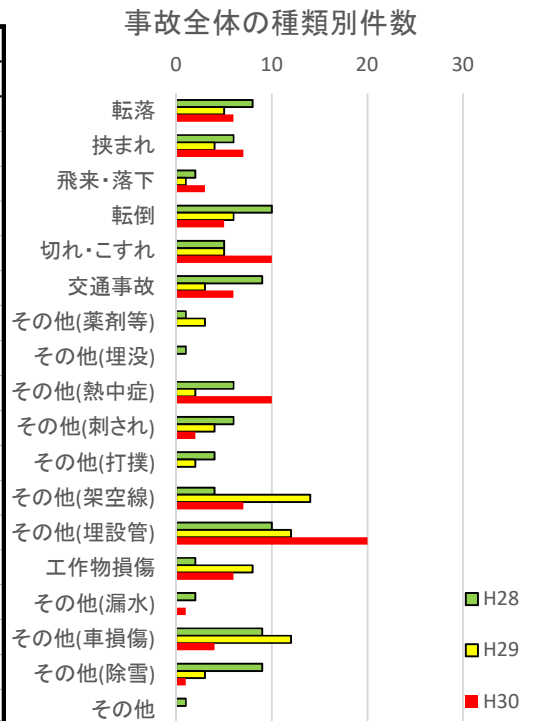
- ① 事故の発生件数が30年度は5件増加した。また死亡事故が1件発生した。
- ② 労働災害の発生件数が昨年度同時期に比べ10件増加した。熱中症が多発（10件）したのが原因。
- ③ 事故による負傷者が42人と大幅に増加した（H29年度：29人）。これも熱中症が多発したのが原因。
- ④ 死亡事故が7月に1件発生した（平成29年度はなし）。
- ⑤ 労働災害で四日以上以上の休業（死亡事故含む）が9件あった。（H29年度：5件）
- ⑥ 60歳以上の死傷者が多い。現場作業員全体に占める60歳以上の割合も多い。

## 9. 事故予防対策のポイント

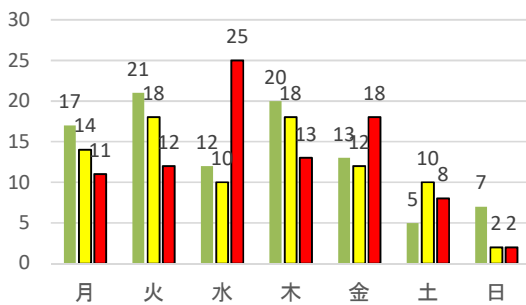
- ① 高所や斜面での作業時・通行時の安全管理の徹底  
足場の点検・安全管理の徹底、安全帯等の使用方法の適正化、安全通路の確保及びその使用の徹底
- ② 建設機械等の安全管理の徹底  
無資格者の運転禁止の徹底、運転手一人での作業禁止の徹底、作業環境の安全確保、機械・機器の定期的点検及び始業前点検の徹底
- ③ 下請作業の安全管理の徹底  
工程・品質管理を含め下請の安全管理指導の徹底(職長の現場指導、KY活動、下請作業員の健康管理等)
- ④ 架線や埋設物の事前調査・確認や作業手順の徹底  
設計時や現場着手時の調査・確認の徹底、該当箇所作業時における作業手順の徹底やKY活動
- ⑤ 安全施設の検討  
仮設防護柵等の設置位置・構造の検討  
仮設作業道の勾配幅員等の検討

## 10. 事故全体の種類別、曜日別、時間別件数 (H28~30)

	労災のみ			全体			
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	増減
転落	8	5	5	8	5	6	1
挟まれ	6	4	7	6	4	7	3
飛来・落下	0	1	2	2	1	3	2
転倒	10	4	5	10	6	5	-1
切れ・こすれ	5	5	10	5	5	10	5
交通事故	0	1	0	9	3	6	3
その他(薬剤等)	0	1	0	1	3	0	-3
その他(埋没)	1	0	0	1	0	0	0
その他(熱中症)	6	2	10	6	2	10	8
その他(刺され)	6	3	2	6	4	2	-2
その他(打撲)	4	3	0	4	2	0	-2
その他(架空線)	0	1	0	4	14	7	-7
その他(埋設管)	0	0	0	10	12	20	8
工作物損傷	0	0	0	2	8	6	-2
その他(漏水)	0	0	0	2	0	1	1
その他(車損傷)	0	0	0	9	12	4	-8
その他(除雪)	1	0	0	9	3	1	-2
その他	1	0	0	1	0	0	0
	48	30	41	95	84	88	4



曜日別発生件数



時間別発生件数

